

## ISO14001、ISO9001による環境・品質の外部審査及び内部監査の実施

当社は、1997年12月に東関東支社房総合材工場にて道路業界で初めてのISO14001を認証取得いたしました。

その後、ISOの考え、その活動を全国に広めるべく環境保全活動の継続的改善に対する検討を重ね、

2003年6月に全社1組織にてISO14001を認証取得しました。

品質マネジメントシステムであるISO9001については、1997年12月に東京支社(現関東支社)で認証を受け、

その後全国の支社に展開しました。その後、2007年10月に各支社で受けていた認証を全社1組織として認証取得しました。

今日まで環境保全活動の継続的改善及び、工事、合材の品質確保、業務の改善に全社を挙げて取り組んでいます。

### 環境外部審査

(1)期間 2008年12月9日～11日(定期審査受審)

(2)定期審査受審組織

①関東支社、中部支社、関西支社の支社本部、営業所、個別工事、合材工場

②本社工事部、製品事業部、総務部、経営企画部、秘書室、監査役業務室、環境管理責任者

(3)審査機関 (株)マネジメントシステム評価センター(MSA)

(4)指摘事項 オフィス部門において法及びその他の要求事項の順守評価の未実施で改善指摘B

の指摘を受け、2008年12月25日までに是正処置、修正処置を完了いたしました。

それ以外に推奨事項として、クレーム情報の解決の仕組みと環境パフォーマンス監視測定の手順が評価され、充実点とされました。



環境外部審査の様子

### 品質外部審査

(1)期間 2008年11月12日～14日

(2)定期審査受審組織

①東北支社、東関東支社の支社本部、営業所、個別工事、合材工場

②本社工事部、製品事業部、技術部、業務改善推進部、技術研究所、品質管理責任者

(3)審査機関 (株)マネジメントシステム評価センター(MSA)

(4)指摘事項 指摘事項は、特にありませんでした。



環境内部監査の様子

### 環境内部監査

(1)期間 2008年6月5日～2009年2月2日

(2)被監査部署

①本社 環境管理責任者、工事部、製品事業部、総務部、技術部、第一営業部、第二営業部、  
営業企画推進部、技術研究所、機械技術センター

②支社 北海道支社、東北支社、東関東支社、関東支社、北陸支社、中部支社、関西支社、中国支社、九州支社

(3)指摘事項 指摘件数は、全部で77件です。各指摘についての修正処置、是正処置は完了しています。

### 品質内部監査

(1)期間 2008年10月20日～2009年11月5日

(2)被監査部署

①本社 品質管理責任者、業務改善推進部、技術部、工事部、製品事業部、技術研究所、営業企画推進部

②支社 北海道支社、東北支社、東関東支社、関東支社、北陸支社、中部支社、関西支社、中国支社、九州支社

(3)指摘事項 指摘件数は、全部で14件です。各指摘についての修正処置、是正処置は完了しています。

### 環境経営度ランキング

企業経営における環境への配慮を日経産業新聞社がランクづけしている「環境経営度ランキング」の2008年度分が2008年12月3日付けで発表されました。当社は2004年度から参加しており、2005年度・2006年度は、道路会社ではトップの成績でした。残念ながら2008年度は2007年度に続き、1位の座を他社に明け渡しましたが、総合では25位から20位へと前進しました。今後さらに環境に配慮した経営に努力してまいります。

## 編集後記

大成ロテック株式会社のCSR報告書をお読み頂きありがとうございます。

当社は、企業理念に則った環境活動の内容を広くステークホルダーの皆様  
に知って頂くことを目的に、2006年に社会環境報告書を初めて発行いたしま  
した。しかしこの1～2年、社会環境報告書に、財務報告を除く企業活動の報  
告をより広く求めることが本流になってきました。その要望に応えるべく、本年度  
より「社会環境報告書」から「CSR報告書」へとリニューアルしました。

さらに、CSR報告書を発行するにあたり、今までの編集活動を見直し、各部  
門の若い社員を中心としたプロジェクトチームを結成しました。

そのため、今までの報告書以上に、ステークホルダーの皆様に近い目線での  
誌面作りが出来たのではないかと自負しております。

特に今回は、よく目に触れてはいるものの十分に理解されていなかった現場  
の活動を取り上げ、工事の中で社会・環境活動にどのように貢献しているかを  
紹介することが出来ました。また、当社の各技術を、「自然・社会・人」に貢献す  
るという企業理念に即して分類し、紹介させて頂きました。これらは、女性の事  
務系社員の意見を取り入れたことによるものです。また、とかく分かりにくかつ  
た、現場の活動、技術、用語等をステークホルダーの目線で分かりやすく解説  
してくれたのは、当社の若手技術社員の面々です。

いささか旧聞に属しますが、3月のWBCにおける日本チームの優勝は、お互  
いの個性を尊重した上でのチームワークの上にあります。この報告書も当社  
の女性社員、若手技術社員が、お互いの個性の引き出しを尊重した上での  
チームワークの賜物であると確信しております。

しかし、まだ至らぬ点、ご指摘等が多々あると思います。それらを真摯に受け  
止め、当社の事業活動、来年度以降の誌面の充実には反映させる所存ですの  
で、事務局宛に、ともしご意見をお寄せ頂きたく、お願いいたします。

対象期間: 2008年度(2008年4月1日～2009年3月31日)  
対象範囲: 大成ロテック及び関連会社の活動紹介の一部も含まれています。  
お問い合わせ: CSR報告書に関するお問い合わせ窓口は、以下となります。

住 所 東京都中央区京橋3-13-1  
電 話 03-3567-9431  
ファックス 03-3567-8521  
電子メール teruo\_shiotani@taiseirotec.co.jp  
takashi\_koike@taiseirotec.co.jp  
担当部署 経営企画部 総務部  
担 当 者 塩谷 照夫  
小池 隆

当社の活動は、インターネットのホームページでも公開しています。

<http://www.taiseirotec.co.jp/>